

## 学位論文審査結果の要旨

博士課程 ①・乙	第 号	氏 名	吉田 留美加
審 査 委 員	主 査 氏 名	片本 宏	
	副 査 氏 名	保田 昌宏	
	副 査 氏 名	菱川 善隆	
[論文題名]			
Intrauterine infusion of povidone-iodine: Its effect on the endometrium and subsequent fertility in postpartum dairy cows The Journal of Veterinary Medical Science, accepted			
[要 旨]			
<p>ポリビニルピロリドン-ヨード (PVP-I) の子宮内投与の有効性に関する客観的な検証は不十分である。そこで、経産牛における PVP-I の子宮内投与後の子宮内膜への影響を炎症反応の点から明らかにするとともに、その後の繁殖成績に及ぼす影響を評価するために実験を行った。実験1では健全なホルスタイン種経産牛 120 頭を用い、分娩後 5 週目 (D0) に子宮内への 2%PVP-I 溶液 50mL 投与する群 (PVP 群)、生理食塩水 50mL 投与する群 (SAL 群) および無処置群 (NTX 群) に分け、44 頭に対して D0 から D7 まで、連日の子宮内膜細胞診を実施し、有核細胞に占める多形核好中球の割合 (PMN%) を記録した。また 120 頭全頭において、D0、D7 および D16 に子宮内膜細胞診により PMN% を記録し、D17 に定時人工授精を実施した。実験2ではホルスタイン種経産牛 25 頭を用い、PVP-I 投与後 24 時間および 48 時間に屠殺する群 (PVP24、PVP48 群)、生理食塩水投与後 24、48、72 および 96 時間に屠殺する群 (SAL24、SAL48、SAL72、SAL96 群) および無処置群 (NTX 群) に分けて、子宮内膜の組織病理学的検索を行った。その結果、実験1では PVP 群における PMN% は SAL 群と比較して D1 に上昇したものの、D2 までに他群と同程度の数値に低下した。定時人工授精による初回授精受胎率は、PVP 群が SAL 群および NTX 群と比較して高かった。実験2では、子宮内膜上皮細胞の再生は PVP48、SAL72 および SAL96 群で認められたが、SAL48 群では認められなかった。</p> <p>以上の結果は、PVP-I 投与が子宮内膜炎の治療だけでなく、分娩後の子宮内膜上皮細胞の再生を促進することで、受胎性向上に寄与することを明らかにした極めて重要な知見であり、学位に値する成果と判断した。</p>			

## 最終試験結果の要旨

博士課程 甲	第 号	氏 名	吉田 留美加
審 査 委 員	主 査 氏 名	片本 宏	
	副 査 氏 名	保田 昌宏	
	副 査 氏 名	麓川 善隆	
[要 旨]			
<p>論文審査会では、研究目的、材料と方法、解析結果、考察および結論が適切にまとめられ、研究内容がよく理解されやすいように簡潔かつ明解な発表がなされた。次に、学位申請論文の内容およびその関連領域について試問を行ったところ、質疑応答は研究成果と豊富な知識に基づいて的確に行われ、研究内容に関連する専門的知識が十分であると判断された。</p> <p>以上により、申請者は博士の学位を授与されるに値する学識を有するものと審査委員一同が認め、合格と判定した。</p>			